

上映会とトークショー 秩父銘仙 技術と文化を今に伝える

6月3日（土）SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザの映像ホールにて開催（入場無料）

埼玉県は、映像公開ライブラリーが所蔵する映像を通して、埼玉に関わりの深い歴史や文化に親しんでいただくため、SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ（川口市）にて、<上映会とトークショー>を定期的で開催しています。6月3日（土）は、普段使いの絹の着物として、大正時代から昭和初期に人気を博した「秩父銘仙」がテーマです。映像公開ライブラリーが所蔵するアーカイブ映像の上映、花織り人・銘仙語り部の木村和恵氏と、捺染(なっせん)加工屋「るりばら銘仙」の店主・岩野倫代氏によるトークショーで、今に伝わる銘仙の技術と秩父の絹の歴史・文化を紐解きます。

●トークゲスト

木村和恵 花織り人・銘仙語り部

秩父市生まれ、在住。華道家、銘仙収集家。収集した銘仙は雑誌「別冊太陽」やNHK「美の壺」で取り上げられ、東京国立博物館特別展「きものKIMONO」、埼玉県立歴史と民俗の博物館特別展「銘仙」で展示された。

岩野倫代 るりばら銘仙 店主

銘仙好きが高じて、日本で唯一織元が残る秩父市の地域おこし協力隊となる。3年間の任期を終え、秩父市で捺染(なっせん)加工屋「るりばら銘仙」を開業し、現代銘仙をつくる。



▲木村和恵氏



▲岩野倫代氏

●タイムテーブル 2023年6月3日（土）

- 13:30 開場
14:00~14:45 第1部 映像上映 ▶「ふる里の織と染-秩父ほぐし捺染-」（1983年）
▶「秩父のほぐし捺染-昭和53年の記録-」（1978年）
14:45~14:55 休憩
14:55~16:00 第2部 トークショー ▶「秩父銘仙 過去、現在、そして未来へ」

【タイトル】令和5年度 第2回 映像公開ライブラリー上映会とトークショー 秩父銘仙 技術と文化を今に伝える

【日 時】2023年6月3日（土）14:00~16:00

【会 場】SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ4階 映像ホール

【料 金】無料（事前申込制）

【定 員】300名（先着順/定員になり次第、受付終了）

【主 催】埼玉県

【お問合せ・申込】映像公開ライブラリー担当（（株）デジタルSKIPステーション）

TEL：048-260-7777（平日9:30~17:30）/ FAX：048-265-2628（24時間受付）

HP：http://www.skipcity.jp または で検索

※ 発熱や咳などの症状がある方、体調不良の方はご来場をご遠慮ください。

※ イベントは、状況により予告なく変更・中止になる場合もございます

本リリースに関するお問合せ：映像公開ライブラリー担当（（株）デジタルSKIPステーション）

Tel：048-260-7777 Eメール：press@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。

※すべてのイベントは予告なく変更または中止となる場合がございますのでご了承ください。